土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　その他河川郷谷川通常砂防事業に伴う測量設計業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	BorNo.4	調査位置	広島県大竹市油見二丁目　地内			北緯	34° 13’ 18.4500″
発注機関	広島県西部建設事務所　廿日市支所			調査期間	令和5年 6月12日～ 令和5年 6月16日	東経	132° 12’ 53.0700″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	48.66m	角度	180° 上 下 0° 90° 0°	方向	0°北 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	YBM-1WA
総削孔長	10.00m								エンジン	ヤンマーTF90M型	ポンプ	YBM　GP-5型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	47.16	1.50		礫混りシルト質砂		暗褐	rd3		渓床堆積物及び崩積土 ・礫はφ50mm程度以下の中ー粗礫が混入 ・基質は細ー中粒砂から成るシルト質砂 ・最上位からGL-0.50m付近まで、耕作地法面の人工改変土	6/16 0.98	0 10 20 30 40 50 60	19	1.15 1.45	3	5	11	19/300							
2				玉石混り砂礫					土石流堆積物 ・玉石は確認石長L=10-20cm程度が混入 ・礫はφ75mm程度以下の円磨度乏しい中ー粗礫から成る ・礫種は非常に堅硬な泥質岩、チャート等が主体で基岩同質礫ークサリレキが点在 ・礫間を充填する基質は中ー粗粒砂 ・細粒分及びφ5mm程度以下の細礫ならびに鉱物片を伴い粒径幅広い ・GL-3.10-3.50m付近、確認石長L=40cmの泥質岩質の転石が点在			31	2.15 2.45	10	11	10	31/300							6/14
3												50以	3.05 3.11	50/60			50/60	60						
4												31	4.15 4.45	8	10	13	31/300							
5												45	5.15 5.45	8	19	18	45/300							6/15
6	42.46	6.20										50以	6.15 6.24	50/90			50/90	90						
7				花崗岩		黄褐			粗粒黒雲母花崗岩強風化岩(DH) ・風化変質が進行し岩質は軟質化 ・原岩組織は明瞭に残存するも、長石の一部及び脈状の熱水変質部で粘土化進行 ・採取試料は場所的に岩芯を残すが、概ねでは土柱状を呈し掌で容易に圧潰可能 ・深度方向に固結度を増し漸移的に硬質化			50以	7.00 7.07	50/70			50/70	70						
8												50以	8.00 8.06	50/60			50/60	60						
9												50以	9.00 9.05	50/50			50/50	50						
10	38.66	10.00										50以	10.00 10.05	50/50			50/50	50						6/16
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								